

2024 年度「ひろしまコミュニティー基金」応募用紙_様式 2

1 事業名 (団体名 NPO 法人ひろしまレクリエーション協会)

サロン出前研修の提供

(広島市社会福祉協議会とのコラボ事業)

新型コロナウイルス 5 類移行後のサロン活動の活性化を図るため、豊かな指導実践力を持つ当協会の講師による、サロン運営者を対象にしたレクリエーション研修会の提供

2 期間

2024年9月から2024年11月

3 事業実施の背景

コロナが発生して4年経過しました。この間外出自粛によりサロン活動が停滞し高齢者の下肢の筋肉量・筋力の低下により転倒事故が多く発生しています。また仲間との会話量の不足により言語流暢性が低下するなど認知機能の低下から軽度の認知症に罹患する高齢者も増加傾向にあります。

一方、2023年の5月にはコロナが5類に移行することが決定し2020年以前のサロン活動の状態に復活されることが期待されています。このような中、健康寿命を延伸させる介護予防策としてのサロン活動の現状を見ると、

- ① コロナ健康二次被害であるフレイル状態の解消が喫緊の課題であるが適切な指導ができる人材が不足している。
- ② サロン世話人への研修の場がなく活動の停滞が続いている。
- ③ 4年間のブランクにより世話人が指導力の低下に不安を抱いている。

4 事業の目的

コロナ 5 類移行後のサロン活動の活性化を図るため、当協会の指導者が講師として出向き、サロン運営者にレク財などを指導するレクリエーション研修会(90分)を無償で提供する。

5 事業参加者数

参加者 広島市 5 地区のサロン運営者 156 名

講師 当協会の会員 5 名(各地区へ 1 名派遣)

6 事業の具体的な実施内容・スケジュール

4 月から 募集案内の作成

5 月から 募集案内の配布 訪問する区の決定 (広島市社会福祉協議会と連携)

中区 西区 佐伯区 南区 安芸区

9 月から 出前研修の開始 5 地区

11 月末 出前研修完了

7 事業によって生まれた成果

中区 西区 佐伯区 南区 安芸区の 5 地区で合計 156 名の受講者が生まれた。

- ① 地域サロンの利用者がコロナ健康二次被害であるフレイル状態を回避でき、継続的に参加したい、集いたいという場になりサロンに行く日待ちどおしいとの声が多くあった。
- ② 世話人が元気になり楽しくお世話していると研修会の成果を体得していた。

2024 年度「ひろしまコミュニティー基金」応募用紙_様式 2

活動の様子

西区社協 鍋島一仁



南区社協 山野節子



中区社協 奥田祐子



佐伯区社協 恵谷裕三

